



飛沫感染防止シールドを寄贈いただきました！



HPでもお伝えしましたが、本校2年生全員分の飛沫防止のためのシールドをいただきました。

ご寄贈していただいたのは、本校学区内、青木の(株)福島ケースさんの代表取締役、本校の卒業生でもあり昨年度の1年生(現2年生)の「社会人に聞く会」で講師としてお話いただいた伊藤 尚登さんです。

今年度、本校の2年生は、少人数学級での最大の人数である33人となり、教室での密集が避けられない状況です。2クラスに分けることも検討しましたが、担当する先生の人数が今のままでは不足し、時間割が組めません。今週から始まる通常登校で、33名が一斉に登校し、授業

を行う場合の感染予防が難しいと考え、5月中旬に伊藤さんに相談したところ、このシールドを作っていただけることとなりました。

当初は学校予算等での支払いをと考えていたのですが、伊藤さんからの申し出で、寄贈という形となりました。本当にありがとうございます。

1年生(19人・20人)と3年生(19人・19人)の学級では、人数が少ないので、それぞれ1m超のソーシャルディスタンスが取れるのですが、2年生はなかなか取れません。でもこのシールドがあれば、飛沫も防止でき、さらには、机をくっつけて、対面での話し合い活動が



できます。来年度から全面实施となる新しい学習指導要領が求める「主体的、対話的で深い学び」の重要な要素の一つが、話し合いや学び合いと言った、対話・対面での学習活動です。感染予防が欠かせない現状での授業の充実のためには、とても効果的なツールだと考えます。

こうして、地域の皆様に見守られ、子どもたちの安全・安心に向けて



ご尽力いただけるこの飯野の皆様のおかげに改めて感謝しつつ、長い休業中の学習の遅れを少しずつ、かつ着実に取り戻していきたいと思っております。